



玉名市立小天小学校

学級数 8学級
児童数 117名

玉名市小中一貫教育…玉名市は全小中学校で小中一貫教育を進めています。

＜天水中学校区小中一貫教育の目標＞

ふるさと天水町に誇りをもち、たくましく生き抜く児童・生徒の育成

＜天水中学校区でめざす子ども像＞

- 知: 自分の思いや考えを伝え合い学び合い未来を切り拓くことができる児童・生徒
自ら学ぶ態度や望ましい学習習慣の形成を図り、確かな学力を付ける。
- 徳: 自他を大切にし、感謝と思いやりの心をもった児童・生徒
時、場、相手に応じて主体的に行動できる態度を育てる。
- 体: 生涯を通して、健康・体力づくりに積極的に取り組む児童・生徒
自ら目標を持ち望ましい生活習慣の形成を図り、健康で健やかな体を育む。

＜本校の教育目標＞

『豊かな心と確かな学力を身に付け、夢に向かってたくましく伸びる小天っ子の育成』

＜気づき・考え・行動する小天の子＞

① 思いやりのある子ども

② 明るくたくましい子ども

③ 学び考える子ども

1 小天小学校プライド ～小天小で大切にしているもの～



本校区内には、夏目漱石の小説「草枕」ゆかりの地及び文化的所産があり、眺望がよく県内外からの利用者が絶えない温泉施設があります。保護者は、みかん等柑橘類栽培やイチゴ、メロン、ナスなどハウス園芸をする農家が多く、会社勤め等の家庭も増えています。三世代同居の家庭も多く、運動会には、おじいさんやおばあさん方もたくさん応援・参加していただきました。PTA行事の出席率は大変高く、学校教育に対して協力的です。5月には美化作業や交通教室準備、お米の苗床づくり、運動会準備、運動会等で大変お世話になりました。運動会では、「綱引き」「三輪車リレー」「四人五脚」などの競技で楽しく参加されて運動会を盛り上げてくださいました。7月以降は、救命救急法講習会やバザー、プール監視、防犯パトロール、親子美化作業、資源回収、親子球技大会等が予定されています。このようにPTA活動がとても盛んです。

117名の児童は、素直で明るく学年や男女を問わず仲がよく、月曜日から木曜日まで1年生から6年生までを8つのグループに分けて縦割り班による掃除活動「もくもく黙って静かに協力しながら掃除すること」を目標にして取り組んでいます。仲良く協力しながら、責任を持って自主的に取り組んでいる子どもたちの姿はほほえましいものです。全校体育では、縦割り班でボールゲームを行っています。縦割り班の活動を通して1年生から6年生までのコミュニケーションを大いに図ることができています。小天小の自慢の一つは、不登校児童は「0」です。みんな元気に登校しています。

5月26日は、素晴らしい天気にも恵まれた運動会でした。「綱引き」では、全学年が紅白に分かれて、歯を食いしばりながら綱を引いていました。徒走もリレーもゴールを目指して全力で頑張っていました。1年から3年生で取り組んだ「パブリカ」はとても自信満々で演技していました。4・5・6年生で取り組んだ「EXダンス～YOSAKOIソーラン～組体操」は圧巻の出来映えでした。特に、組体操では、練習の成果が出てこれまでで一番の完成度でした。演技終了後、子どもたちの表情がとても満足げで最高の笑顔が見られました。本校の児童の成長を実感する1日となりました。

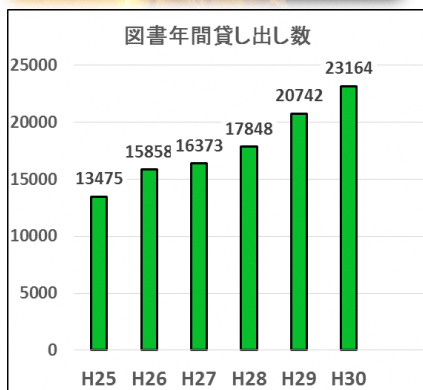
2 めざす子ども像～学びの足跡～



児童主体の授業



ノート検定



主体的に、思いや考えを伝え合い、 学び合う小天っ子の育成 ～児童の思考・判断・表現する力を育てる言語活動を通して～

本校の教育目標は、『豊かな心と確かな学力を身に付け、夢に向かってたくましく伸びる小天っ子の育成』です。この達成のために、上記の研究テーマを掲げ、言語活動を充実させた授業改善と環境づくりに取り組み、主体的に学習に臨む子どもの姿を目指しています。

仮説1「他者との対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場を設定し、自身の学びや変容を自覚できる振り返りを工夫した授業を行えば、主体的・対話的な学びの姿が育つであろう。」

- ①身に付けさせたい力の明確化と言語活動の設定・単元構成の工夫
- ②学びを方向付ける「問い」の工夫
- ③協働解決、対話活動の場の設定の工夫
- ④思考の過程の可視化の工夫（ノートでの可視化）
- ⑤自らの学びに気付くことができる振り返りの工夫

仮説2「授業で身に付けた力を実生活に活かす場を設定・工夫すれば、主体的・対話的な学びの姿が育つであろう。」

言葉のコーナー、学習のあゆみ（学年掲示板）、ノート検定、ぐんぐんタイム等の充実、日常指導や表現集会での発表、交流活動の工夫

◆◆◆ 第6回自主研究発表会 ◆◆◆ 開催日 令和2年1月16日（木）午後

★ノート検定（グッドノート）の取組

ノートの書き方を身に付け、より良いノート作りへの関心意欲を高め、学習内容の定着を図ることをねらいとして定期的に「ノート検定」を体育館で実施しています。全校で統一した「検定のポイント」を作成して子どもたちに示すことで、より良いノート作りへの意識を高めています。ノート検定に合格した児童の中から、各担任が学級から2名のノートを選び、「今月のグッドノート」として校内に掲示しています。9年間続いているこの取組は小天小の誇りです。

★読書量がすごいです！

小天小の児童は、本を読むのが大好きです。児童数はだんだんと減少傾向にありますが、読書量は、年々増加傾向にあります。

3 避難訓練の取組



第2次避難所へ移動



引き渡し訓練の様子

本年度も、様々な自然災害等に備えて、避難訓練を計画・実施しています。6月には、避難経路の確認と地震津波避難訓練を実施しました。訓練では、第1避難場所から第2次避難場所（裏山）まで約15分ほど移動する訓練を実施しました。裏門から道路を横断し急な上り坂を一気に移動する訓練でした。1年生の児童は、6年生に手をつないでもらいながら上り坂を素早く移動することができました。また、6月11日には、昨年度より始めた「引き渡し訓練」を実施しました。事前に計画を何回も練り直しながら、引き渡しカードを準備したことでスムーズに訓練を行うことができました。